

改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 11月号 (NO 91)

【農暦】十三夜の月が妖艶な光を放っていた！

○梅雨のような雨が続いた後は11月下旬から12月の気温になる。今年は“秋がない”と気候予報士が言っていた。秋らしい日は少なかったように思った。異常な天候を憂いていたが、詩吟の例会の帰りの夜半、空の様子がいつもと違うのを感じた。夜空を見上げるとウロコ雲の間から月が妖艶な光を放っていた。秋の空である。今日(1日)は十三夜だったのだ。上杉謙信が“霜は軍営に満ちて”で始まる「九月十三夜陣中の作」を詠んでいる。ススキに栗を供え、月を愛でる心を忘れていたことが悔やまれた。夜空をしばし見上げていた。十五夜は10月4日(旧暦8月15日)で仲秋の名月で芋名月と云い、十三夜は栗名月と云い、十五夜より美しいと昔人は月見したと云う。

○栗のことでは、笠間の栗は有名だが、春先に虫の被害の話があったが、その後被害のことは聞かないので収まったのかも知れない。私のところの3本の栗は剪定などしていたのだが全滅であった。そんなことで栗を購入した。ところが傷んだものが多量に含まれていた。クレーマーの多い社会のギスギスした空気に嫌なものを感じていたのでためらったが、信用も大事と届出た。誠意ある対応に良かったと思った。今、日産の車に乗っているが、品質問題はメーカー各社を一巡している。他業種にも蔓延？し品質日本を怪しくしている。企業文化もアメリカ化したのか大きく変わって来ている。アメリカの劣化と同調してか？政治も含め悪くなる一方である。横道が過ぎるので止めるが、昔日がよかったとの想いが強くなる世情である。

○6日朝のNHKで落花生の“おおまさり”の事をやっていた。老化防止など健康に良いとの話であった。2日に“おおまさり”を収穫したところであったので、余りのタイミングの良さにびっくりした。早速、茹でて食べた。美味であり健康に良い様な気がした。最近ではほとんど直売所に出していないので少しだけ出荷することにした。栗の品質に触れたばかりなので選別など注意を払った。お裾分けとは違った楽しさがあった。何かママゴト遊びをしているようで嬉しい気分になっていた。9日のことである。

○相変わらず天候との相性にも恵まれず遅れ遅れになっている。小豆、黒豆の収穫を進めている。里芋も試し掘りした。小振りのものが多かった。雨天も影響してか大幅減収になりそうである。イベントも多いが天気と相談しながら進めたい。小豆、黒豆の選別は炬燵での夜なべ作業になると思うが、苦でなく楽しくやりたいと思っている。



＜十三夜の月＞ウロコ雲の中、妖艶な月光。カメラ性能を恨む。1日撮影

【楽農】小豆、黒豆、落花生の収穫！

<畑A>；落花生、ネギ、コブ菜など少量収穫。周辺除草と庭木の剪定など継続。<ハウス>；なし、<畑B>；小豆、黒豆、落花生、里芋（試し堀）の収穫



<黒豆の円錐乾燥>今年の半分強に。9日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○イベントなど；エコピア柏・笠間見学会（27-28日）共生つばさの会（2日）川柳の会（2日）笠吟連50回記念大会（5日）に参加など。

○その他；コブ菜のお裾分け。落花生の少量出荷。

【つぶやき=Tweet】ギャップに違和感！

○トランプ大統領と安倍首相の華やかな会食、晩餐会、ゴルフをと親密振りのニュースに続き異様な座間の殺人のニュースが併映される。アメリカでも銃による多数の殺人事件が起こっている。同じ時間の流れの中で起こっている。ものすごいギャップに違和感を持った人は少なからず居られたと思う。安倍首相の外遊は桁外れに多い。1回2億円？の外遊は訪問国70カ国延べ127になり、ばら撒かれた援助は6.5兆円に上ると云う。その一方で学校給食が唯一の供給源という小学生。借りた奨学金が払えず自己破産する若者。年収160万円以下の母子家庭、、、日本の社会保障費の率は先進国中で最下位であるという。この両極が同時にある事に憤りの様なものを感じる。血税を使っている意識が全く見えない。また1000兆円の借金を抱える国の外交の経費のあり方もだが国の財政にも違和を感じる。プライマリーバランスは遠退くばかりである。



<白の野菊>西念寺の参道脇で。27日撮影

○今回の衆院選で自民党が大勝した。自公の与党が3分の2を超えた。と云うが、自公への投票率は45、7%で野党の54、3%より9ポイントも低い。“排除する”の小池発言がなく野党連携が出来ていれば政権転換は出来たと数字は示している。公示直前に立党した立憲民主党が1100万票を得票した。自民党の3分1弱になる。投票率は最下位の3年前から3ポイントアップの53、68%である。安倍自民党に投票したのは有権者の17、8%で5人に1人にもならない。問題の多い政権に信任を与えたのかとがっかりしていたが、投票実数では不信任をしていたのである。有権者の投票意思と与党の議席数とのギャップには驚いてしまう。信任を得たと9条？改憲の発議を進めるといふ。安倍一強への付度のマジックが働くことを怖れる。

○また重苦しいことをと言われそうだが、とり越し苦労であればと思いたい。

【後記】十三夜の月も素晴らしかった。笠間に。kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10